

様式第2号（第5条関係）

令和4年12月20日

派遣成果報告書

有田市議会議長 様

議員氏名 上山寿示



有田市議会の議員派遣に関する要綱第5条の規定により、下記のとおり報告します。

記

研修名	地域の人・あるものを活かす 持続可能なまちづくり
研修期間	令和4年11月15日（火）
研修場所	1 全国市町村国際文化研修所（大津） 2 市町村職員中央研修所（千葉） 3 地方議員研究会（ ） ④ その他（ 地方議会総合研究所・・・京都 ）
研修の成果	別紙のとおり

※ 「研修の成果」は研修内容や所感などを具体的に別葉に作成して添付してください。

※ 研修先から交付される「終了証」等を添付してください。

## 報告書

所属 件名		氏名	上山寿示
参加 情報	日時	令和4年11月15日	
	場所	京都私学会館	
	主催者	地方議会総合研究所 白井拓司	
要旨	地域の人的資本戦略		
	変化の時代に持続可能な地域をつくるための 人への投資とは？		
報告 内容			
所見			


人材から人的資本への考え方で、総合経済対策として人への投資を進め早ければ2023年3月期の有価証券報告書から人的資本情報の開示を義務付ける方針を出している。これまでは企業の人件費などの利益を押し下げるコスト、現在では付加価値を生み出す資本として捉える動きが広がっていることから、人的資本への重要性が大きくなっているとのことでした。

これからの企業の在り方と、地域づくりとの在り方も同じ考えかたで、目先の利益より、未来をどう考え、きちんとしたビジョンを明確にし、人材を配置するに対してどのような能力が必要かを、逆算して選択することが重要である、そして組織をつくらなければいけない。地域づくりに重要なこと新しい価値を打ち出したら新しい世代が集まるとされるので、次世代をどう活かして持続可能な未来を切り開く必要がある。

そのためには対話を通じての未来への問いかけ設定し、今後の行動の循環を生み出す場を作っていく事が大切であるとの内容でした。

今回地域の人的資本戦略の講習を聞き、企業の組織論、また当たり前前の地域づくりの教えで合ったのが少し残念でした。

しかしながら、改めて聞くと自分の地域づくりの考えを、今一度見

なおす、いい機会になりました。

人、企業から選ばれる地域とは、またヨソモノ、ワカモノ、バカモノの考えをどう引き出すかが今後の課題と思います。

未来のビジョンをもっと明確にして有田市の未来について取り組んでいかなければならないと思います。